

被爆体験証言者と高校生との共同制作による

原爆の絵展



「お寺を襲った炎の竜巻」



「孫娘を連れて帰るお婆さん」



あの日の光景を
私は忘れない

「逃げてきた被爆した親子」



「防火用水の中で立ったまま焼かれた被爆者たち」

【日時】 6月1日(月) 10:00 ~ 6月7日(日) 16:00

《6月2日(火)は休館日です》

【会場】 長浜まちづくりセンター 【長浜市高田町12-34 さざなみタウン内】
2階展示スペース (入場無料)

広島平和記念資料館では、広島市立基町(もとまち)高等学校普通科創造表現コースの協力を得て、2007年度から、被爆体験証言者と同校生徒が共同し、証言者の記憶に残る被爆時の光景を高校生が絵に描き、当時の状況を伝える「原爆の絵」の制作に取り組んでいます。

何度も打ち合わせを重ねながら制作される絵は、当時の惨状を克明に描き出すものであり、また、証言者の記憶や思いに高校生が寄り添い、双方の気持ちを共に伝えるものです。

被爆体験の継承の一つの形として、一人でも多くの方に絵をご覧いただければ幸いです。



主催：湖北ピースアクション2026 実行委員会 (代表/丸岡英明)

連絡先：実行委員会事務局 (長浜平和委員会) 藤本 090-4903-8054